

# 当会推薦5名が建設マスターを受賞



西良男氏



近藤浩章氏と令夫人



小畑準次氏と令夫人



あいさつする野上浩太郎・国土交通副大臣



妻科賢一氏と令夫人



井上義一氏

優秀施工者国土交通大臣顕彰式典が10月17日、東京都港区のメルパルク東京で開催された。平成25年度は、建設業や電気事業の団体などから推薦を受けた全国各地の施工技術者のうち、国土交通省の優秀施工者国土交通大臣顕彰審査委員会による選考を通過した378名が晴れて「優秀施工者（建設マスター）」の称号を授与された。顕彰式典では受賞者に顕彰状と記念のバッジが贈呈された。内発協推薦の5名は全員が審査を通過し、栄えある建設マスターを受賞した。

日本機工株式会社（東京都港区、八箇真佐之社長）に所属する西良男（にし・よしお）氏は、電気工として、ビル建設現場の第一線で電気設備工事に精励し、あらゆる種類の発電設備の電気工事・配管工事・据付工事などの実務に精通している実力が高い評価を受けた。

株式会社辰巳菱機（東京都江東区、近藤豊嗣社長）に所属する近藤浩章（こんどう・ひろあき）氏は、電気工として、発電設備の電気工事の設計から現場施工まで一貫して作業に携わり、豊富な実績と卓越した技能を備えていることが高い評価を受けた。

同社の小畑準次（おばた・じゅんじ）氏は、電気工として、

発電設備の負荷試験業務に係わる現地での事前調査から負荷試験装置の製造・設置工事、負荷試験の実施と試験後の装置の撤去まで一貫して取り組み、顧客より多大な支持を得ていることが評価された。

株式会社第一テクノ（東京都品川区、向井善彦社長）に所属する妻科賢一（つましな・けんいち）氏は、機械器具設置工として、発電設備・ポンプ設備・危険物設備・消火設備、集塵機などの据付工事において、優秀な技能・技術を発揮し、建設施工工事の合理化や安全衛生向上にも貢献している功績が評価を受けた。

ダイハツディーゼル株式会社（大阪市北区、原田猛社長）に所属する井上義一（いのうえ・よしかず）氏は、機械器具設置工として、非常用発電設備・常用発電設備の据付工事に従事し、設置工事の安全性確保、設置後の設備の信頼性向上に多大な貢献をしていることが評価を受けた。

同日の顕彰式典では、来賓あいさつとして、野上浩太郎・国土交通副大臣が太田昭宏・国土交通大臣の祝辞を代読し、マリ・クリスティーン・優秀施工者国土交通大臣顕彰審査委員が祝辞を述べた。